



平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月9日

上場会社名 札幌臨床検査センター株式会社
 コード番号 9776 URL <http://www.saturn.co.jp/>

上場取引所 東札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大井 典雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 荘司 晃久

TEL 011-613-3210

四半期報告書提出予定日 平成30年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	8,433	3.3	318	37.5	330	36.8	206	40.3
30年3月期第2四半期	8,716	3.4	509	45.5	522	41.0	346	44.7

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 203百万円 (40.6%) 30年3月期第2四半期 342百万円 (36.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	60.05	
30年3月期第2四半期	99.62	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	10,503	7,666	73.0	2,239.44
30年3月期	10,591	7,597	71.7	2,194.08

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 7,666百万円 30年3月期 7,597百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		11.00	11.00
31年3月期		0.00			
31年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,972	2.9	1,041	2.4	1,058	0.5	716	4.6	207.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期2Q	4,216,000 株	30年3月期	4,216,000 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

31年3月期2Q	792,698 株	30年3月期	753,439 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期2Q	3,443,048 株	30年3月期2Q	3,479,417 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、西日本豪雨を始めとする自然災害の影響を受け、一時的に景気回復の動きは鈍りましたが、企業収益や雇用環境の改善などを背景に、緩やかな回復基調が続いております。

しかしながら、米国の強硬な通商・外交政策をはじめ、海外の不安定な政治動向や地政学的リスクの影響が懸念され、景気の先行きは依然として不透明な状況となっております。

当社グループが拠点を構える北海道の経済におきましては、相次ぐ地震や台風等の災害の影響により、公共工事、住宅建設は減少しているものの、観光及び個人消費は回復しつつあります。

医療業界におきましては、平成30年4月に診療報酬改定が実施されるなど、医療費抑制政策が続いており、業界を取り巻く経営環境はより一層厳しい状況にあります。

このような状況の下、当社グループは、医療機関の多様化するニーズに応えた営業活動を展開し、新規顧客の獲得及び調剤薬局の新規出店による営業基盤の拡大に努めると共に、引き続き経費効率を重視した収益基盤の強化に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高8,433百万円（前年同期比3.3%減）、営業利益318百万円（同37.5%減）、経常利益330百万円（同36.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益206百万円（同40.3%減）と減収減益になりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 臨床検査事業

臨床検査事業におきましては、新規に顧客を獲得いたしました。全般的に顧客との取引においては当初の見通しに及ばなかったことに加え、震災による停電等の影響もあり、売上高におきましては2,919百万円（前年同期比1.4%増）と前年を若干上回るに留まりました。一方では、当初見越していた売上高が低位で推移したことによる原価率の上昇と経費が増加したことからセグメント利益163百万円（同10.5%減）と前年同期を下回りました。

② 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、新規に調剤薬局を1店舗開局しましたが、診療報酬の改定により技術料及び薬価の引き下げの影響に加え、震災による停電等の影響もあり、売上高5,085百万円（同6.1%減）、セグメント利益319百万円（同35.6%減）と売上、利益共に前年同期を下回りました。

③ 医療機器販売・保守事業

医療機器販売・保守事業におきましては、福祉用具の販売・貸与が前年同期を上回ったことから売上高393百万円（同3.2%増）、セグメント利益1百万円（前年同期はセグメント損失3百万円）になりました。

④ その他の事業

臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守におきましては、売上高35百万円（前年同期比10.7%減）、セグメント利益26百万円（同4.3%減）になりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は7,308百万円となり、前連結会計年度末に比べ101百万円減少（前連結会計年度末比1.4%減）いたしました。これは主に商品が40百万円、現金及び預金が26百万円それぞれ増加しましたが、受取手形及び売掛金が184百万円減少したことによるものであります。

固定資産は3,194百万円となり、前連結会計年度末に比べ13百万円増加（同0.4%増）いたしました。これは主に建設仮勘定が74百万円、工具、器具及び備品（純額）が58百万円それぞれ減少しましたが、建物及び構築物（純額）が112百万円、投資有価証券が35百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は10,503百万円となり、前連結会計年度末に比べ87百万円減少（同0.8%減）いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は2,572百万円となり、前連結会計年度末に比べ156百万円減少（同5.7%減）いたしました。これは主に賞与引当金が121百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が147百万円、未払法人税等が107百万円、未払金が34百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は264百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円減少（同0.3%減）いたしました。これは主に役員退職慰労引当金が3百万円増加しましたが、長期未払金が4百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,836百万円となり、前連結会計年度末に比べ157百万円減少（同5.2%減）いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は7,666百万円となり、前連結会計年度末に比べ69百万円増加(同0.9%増)いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益206百万円、自己株式の取得96百万円及び剰余金の配当38百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は73.0%となり、前連結会計年度末比1.3ポイント上回りました。

また、1株当たり純資産は2,239円44銭となり、前連結会計年度末比45円36銭増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、下期の業績動向を精査中であることから、平成30年5月11日に公表しました数値を据え置いております。

今後の業績の動向を踏まえ、修正が必要と判断した場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,056,776	4,083,675
受取手形及び売掛金	2,767,112	2,582,932
商品及び製品	464,636	505,113
仕掛品	7,742	8,783
原材料及び貯蔵品	56,626	58,844
その他	89,189	95,812
貸倒引当金	△31,883	△26,549
流動資産合計	7,410,199	7,308,612
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,075,665	2,193,229
減価償却累計額	△1,296,462	△1,301,513
建物及び構築物(純額)	779,203	891,715
機械装置及び運搬具	36,673	41,261
減価償却累計額	△33,211	△34,324
機械装置及び運搬具(純額)	3,461	6,937
工具、器具及び備品	2,767,694	2,759,234
減価償却累計額	△2,333,265	△2,383,520
工具、器具及び備品(純額)	434,429	375,713
土地	1,052,372	1,043,361
リース資産	65,040	60,537
減価償却累計額	△29,406	△25,636
リース資産(純額)	35,633	34,901
建設仮勘定	74,320	—
有形固定資産合計	2,379,421	2,352,628
無形固定資産		
その他	83,894	69,241
無形固定資産合計	83,894	69,241
投資その他の資産		
投資有価証券	132,901	168,699
長期前払費用	32,413	31,620
差入保証金	252,121	259,136
繰延税金資産	172,057	174,792
その他	145,177	155,523
貸倒引当金	△17,040	△17,090
投資その他の資産合計	717,631	772,681
固定資産合計	3,180,947	3,194,552
資産合計	10,591,147	10,503,164

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,066,895	1,919,218
リース債務	10,831	11,202
未払法人税等	241,970	134,192
賞与引当金	114,997	236,916
未払金	99,660	65,435
資産除去債務	2,900	—
その他	191,886	205,882
流動負債合計	2,729,142	2,572,848
固定負債		
リース債務	29,229	28,217
役員退職慰労引当金	68,165	72,044
退職給付に係る負債	19,548	20,283
長期未払金	140,994	136,547
資産除去債務	2,000	2,000
その他	4,930	4,930
固定負債合計	264,869	264,022
負債合計	2,994,012	2,836,871
純資産の部		
株主資本		
資本金	983,350	983,350
資本剰余金	1,015,270	1,015,270
利益剰余金	6,109,905	6,278,568
自己株式	△537,007	△633,162
株主資本合計	7,571,518	7,644,026
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,617	22,266
その他の包括利益累計額合計	25,617	22,266
純資産合計	7,597,135	7,666,293
負債純資産合計	10,591,147	10,503,164

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	8,716,740	8,433,020
売上原価	6,009,443	5,907,565
売上総利益	2,707,297	2,525,454
販売費及び一般管理費	2,197,493	2,206,892
営業利益	509,803	318,561
営業外収益		
受取利息	380	291
受取配当金	1,818	3,211
受取賃貸料	22,746	25,031
その他	11,824	14,696
営業外収益合計	36,769	43,230
営業外費用		
支払利息	676	759
賃貸収入原価	22,596	22,850
その他	686	7,760
営業外費用合計	23,959	31,370
経常利益	522,613	330,422
特別利益		
固定資産売却益	1,233	—
特別利益合計	1,233	—
特別損失		
固定資産売却損	—	1,799
固定資産除却損	479	749
会員権評価損	—	50
減損損失	1,737	11,158
特別損失合計	2,216	13,757
税金等調整前四半期純利益	521,630	316,664
法人税等	175,027	109,913
四半期純利益	346,602	206,751
親会社株主に帰属する四半期純利益	346,602	206,751

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	346,602	206,751
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,340	△3,350
その他の包括利益合計	△4,340	△3,350
四半期包括利益	342,262	203,400
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	342,262	203,400
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年6月26日開催の取締役会決議に基づく自己株式39,200株の取得及び単元未満株式59株の買取りを行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が96,154千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が633,162千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	医療機器 販売・保 守事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,879,689	5,416,338	380,989	8,677,016	39,723	8,716,740
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	322,692	322,692	645	323,337
計	2,879,689	5,416,338	703,682	8,999,709	40,368	9,040,078
セグメント利益又は損失 (△)	182,463	496,859	△3,768	675,554	27,682	703,236

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守による収入を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	675,554
「その他」の区分の利益	27,682
セグメント間取引消去	5,670
全社費用(注)	△199,103
四半期連結損益計算書の営業利益	509,803

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「調剤薬局事業」セグメントにおいて、取締役会で決議された来期移転店舗の移設不能資産を平成30年3月末の見積帳簿価額にて算定し、減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において1,737千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	医療機器 販売・保 守事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,919,400	5,085,062	393,101	8,397,563	35,456	8,433,020
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	314,265	314,265	458	314,724
計	2,919,400	5,085,062	707,367	8,711,829	35,915	8,747,744
セグメント利益	163,289	319,735	1,399	484,424	26,482	510,906

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守による収入を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	484,424
「その他」の区分の利益	26,482
セグメント間取引消去	5,727
全社費用(注)	△198,072
四半期連結損益計算書の営業利益	318,561

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

遊休資産のため、報告セグメントに配分されない減損損失11,158千円を計上しております。